



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jim@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎を牽引していく！」
～長崎県を活性化するために、会勢700名を達成しよう～

11月 五島支部 例会報告

食の空間(たのしさ)を演出、大切だったのは「理念」 ～同友会で経営理念を作成して見えてきたもの～

開催日：11月20日(金) 18:30 会場：福江総合福祉保健センター

報告者：(株)大幸企画 代表取締役 時 忠之 会員(大村支部)



11月例会は、大村市を中心に飲食店を16店舗経営されてる時 忠之さんにお越しいただき経営理念の大切さについて報告していただきました。

時さんは先代社長(父親)からスムーズに事業承継したわけではなく、先代の考えで先ずは1店舗のオーナーという立場で、現場から学び、ほぼ休みなく朝から深夜までの勤務を2年間続けられたそうです。

その後暫くして、現在の会社に入社して、先代の他界に伴い事業承継していくわけですが、その立場に



なって自社を振り返ったときに、先代の意味、会社の方向性をどのように決断していくべきか迷われたそうです。そのときに、やはり会社には経営方針や理念が必要だと感じ、入会もない同友会での経営指針作りに取り組み、今年はじめて「新年度方針2015」～代表取締役 時 忠之の信条～を発表されたそうです。

発表後、社内では自然発生的に店舗の事務所に貼りだされたり、朝礼で唱和されたりするようになり社内の変化を実感し、やはり自身にとっても会社にとって

目次

11月例会報告	1	(株)長崎地研(佐世保支部 村山会員)経営計画発表会 参加報告	9
第29回 中小企業憲章・条例推進本部と政策委員会 合同会議 参加報告	4	事務局企業訪問	10
長崎ウエスレヤン大学「キャリアデザイン」講座 参加報告	5	入会・交代会員紹介	11
新入社員フォローアップ研修会 開催報告	6	11月例会案内	12
仲間づくり委員会 県下一斉キャンペーン 結果報告	7	理事会議事録 抜粋	13
佐世保365方式 第2回 経営計画書策定セミナー 開催報告	7	会員消息・会員数	14
(株)広告のアクセス(佐世保支部 山領会員)経営計画発表会 参加報告	8		

も経営指針や理念は必要だと気づかれたそうです。

報告後のグループディスカッションでは、「あなたの会社のモットーは？」をテーマに、様々な話が出ましたが、経営者のモットーが経営指針に繋がっていくということで、五島支部会員も気づきがあったのではないのでしょうか。

「企業の責任は雇用を増やし、地域に貢献すること」と仰る時さんは、今後も目標に向かって邁進されることでしょう。

(文責 勝本 政裕)

大村支部 例会報告

日 時	11月19日(木) 18:30
会 場	長崎インターナショナルホテル
内 容	例会の魅力を探る ～会員に伝えたい、例会の魅力！～



11月の例会は、通常と少し趣を変えて、例会の魅力を会員の皆さんにたくさん知ってもらい、今後の例会に少しでも多くの人に参加してもらえるようにという目的で開催されました。

まず、支部長の挨拶から始まり、前支部長の大塚真一さんより例会の魅力について報告をいただきました。例会に参加することによって、会員同士の交流が深まること、大村支部だけでなく他支部や外部からオブザーバーとして参加された方との出会いがある、新しい情報が得られる等のたくさんの魅力を挙げられていました。私も同友会活動に参加するようになって多くの新しい出会いに恵まれています。私もできるだけ毎月の例会とその他の同友会活動に参加するようにしていますが、改めて例会を始め、同友会活動の魅力について再確認することができました。

その後、各グループにアドバイザーの方に入っていたいただき、「あなたが考える例会の魅力とは」というテーマでグループディスカッションを行いました。普段なかなかグループ長をされない方がアドバイザーの方のサポートもあり挑戦され、どのグループも活発なディスカッションが行われていました。私も何度かグループ長を務めさせていただきましたが、なかなかうまくディスカッションをまとめられず同じグループの方に迷惑をかけてしまうこともありました。しかし、失敗も経験のうち、その経験が会社経営の中でも活かされ



ることが大塚さんの報告の中でもあり、実際にディスカッションの中でもその話題が上がりました。今後は私もできるだけ積極的にグループ長や発表者を経験していきたいと思いました。

例会終了後は、毎月恒例の懇親会がありました。皆さん懇親会でも食事をしながら交流を深めることができました。懇親会中、一人ずつ感想を述べる時間も設けられ、皆さんのさまざまな意見を聞くことができ、また次回の例会が楽しみになりました。

(文責 橋口 仁一)

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなどご紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

掲載/情報広報委員会にて選考

投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



諫早支部 例会報告

日 時	11月13日(金) 19:00
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
内 容	大懇親会祭り ～来てみらんね。家族(なかま)になろうよ～

今回の例会は、長々のテーマ通り報告無しで、会員全員で懇親を深めようと仲間づくり委員会と共育委員会で企画実施しました。

会員の他にもゲスト7名を含めて、同友会クイズなる非常に難しいクイズ、他己紹介、全員によるじゃんけんぽん大会、会員による歌披露、等々全員が懇親を深めた二時間でした。

(文責 前田 義幸)

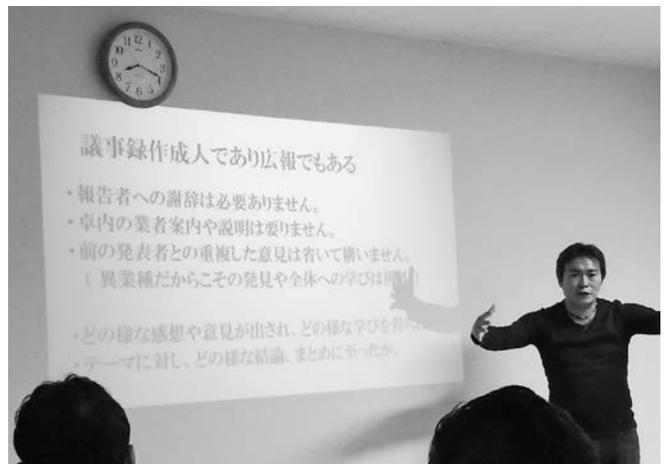


島原支部 例会報告

日 時	11月16日(月) 19:00
会 場	島原市霊丘公園体育館
テ ー マ	良い報告から良い学びを得るために ～最小の時間でも最大の学びを得よう～
報 告 者	上田支部長 以下 支部役員

11月例会は、会員全体のスキルアップを図るには先ず何から理解してもらうべきかを役員会で検討を重ねた結果、初心に戻ろうという事になり、テーブル長研修とテーブルディスカッションの進め方の勉強会を行いました。

私も含め島原支部は会歴が浅い会員が多く、同友会活動の趣旨・学びの目的を例会委員長によるPowerPoint を使った説明から始まりました。



短い時間でも最大の学びを得る為の姿勢とは。例会の流れと、例会からの学びとは。同友会の最大の魅力は、会社経営と不離一体の学びを得られる会であるという事。

私も今回改めて同友会の詳しい説明を受けて理解を深める事が出来ました。ただその場に居るだけでなくもっと真剣に参加し、同友会での学びを会社の成長に繋げなくてはならないと実感しました。

次に模擬討論へ移る前に、上田支部長をテーブル長とした役員による良いモデルとしての寸劇が全員が見守る中で終始にこやかに行われました。私も寸劇に一役参加しましたが、そこで学んだ事はテーブル長とは皆の感想・意見に対して1歩深く質問し深掘りをしていくこと、そのことにより抽象的な意見からより具体的な意見を聞き出し他の参加者に理解しやすくする。また勝手にわからないゲストに対しては深掘りしない配慮も必要ということです。

会場も和らぎ質疑等多くの意見が交わされ、良い討論にする為のテーブル長の役割と進行を学んだ後、6卓に分れ模擬討論に入りました。どのテーブルも視点・論点・まとめ・発表と意見が飛び交い今までにないようなテーブルディスカッションとなったのです。

テーマも先日の経営フォーラムと同じく「会社の中で今後、変えなければならない事、逆に変えてはならない事」を論議し、どのテーブルの発表者も、いつもとは違う雰囲気の中での発表となり、聞く側も含め全員が学びを共有出来た大変収穫ある例会となりました。

最近、新入会員が増えてきております。今回のような勉強会を定期的に行い、同友会への入会の目的と、例会参加と学びのメリットは何なのか。

討論においては、各テーブルで更に学びを深め合い他社の知恵や経験を必ず持ち帰る為にはどうしたら良いのか。今一度会員に落とし込み、長い同友会の歴史と先輩方が試行錯誤の末に今の討論スタイルが確立されているという事を踏まえて、更に良い学びが得られるように我々がブラッシュアップして未来の後輩たちに遺せるようにしたいものです。

(文責 荒木 博)



第29回 中小企業憲章・条例推進本部と政策委員会 合同会議 参加報告

開催日：11月4・5日(水・木) 会場：東京同友会 会議室

東京市ヶ谷にあるビルの3階、エレベーターを降りると、右が中同協事務局、左が東京同友会の事務局と、同じフロアに同居していることを知りました。

遅ればせながら、中同協政策委員会に初参加して来ました。会議室に入ると、全国から67名の論客、熱気溢れる会議が始まりました。

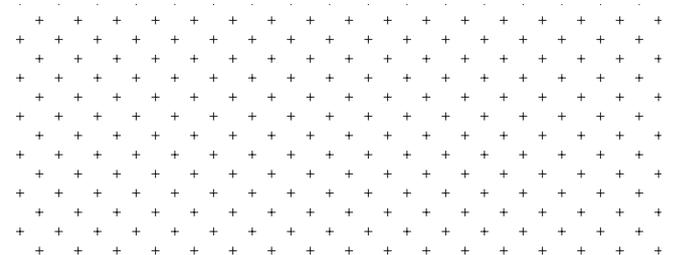
鋤柄会長のあいさつに始まり、経済産業省中小企業庁事業環境部石崎企画課長(石崎さんは、元長崎県産業労働部長です)のあいさつと施策説明がなされ、その後中小企業憲章・条例推進運動の到達点と、今後の取り組み方針について報告と論議が続きました。特に、6月に衆議院議員会館で開催した2015キックオフ集会については、全国から39同友会163名の会員が参加、衆参経済産業委員会所属の議員へ働きかけた結果、36名の衆参の国会議員の参加が実現し、運動の広がりが確認されたと報告がありました。

その後、憲章・条例推進本部からの問題提起、全国各地の運動の進捗状況の報告、そしてグループディスカッションと熱論が続きました。その中で感じたのは、各地の温度差が結構激しく、都道府県に対して政策提

言を積極的に行っている愛知や大阪、討議資料としての位置づけである「日本経済ビジョン」などに組み込みが顕著な東京などのグループと、反面ほとんど動きがみられない同友会もあるようです。

グループディスカッションの中では、共通意見が「なかなか会員への運動の浸透が難しい」「受け身の会員が多く、自ら動くことが不足していると感じる」「一部のマニアックな人たちの活動だ」など日頃感じていることは同じだったようです。もちろん、懇親交流会まで、熱い議論が続いたことは言うまでもありません。とても有意義な二日間でした。

(文責 政策委員長 宮田 正一)



長崎ウエスレヤン大学「キャリアデザイン」講座 参加報告

開催日：11月18日(水) 8:50 会場：長崎ウエスレヤン大学

テーマ：社会人による職業理解セミナー ～企業の方々から求められる人材を学ぶ～

講師：諫早観光ホテル 道具屋 代表取締役社長 藤原 貞明 会員(諫早支部)
(株)ドゥアイネット 代表取締役 土井 幸喜 会員(長崎支部出島地区会)
(株)大幸企画 代表取締役 時 忠之 会員(大村支部)

昨年6月、長崎ウエスレヤン大学と同友会諫早支部との間で、産学地域連携包括協定を締結した事により、今期から具体的な取組みをさせていただいております。その取組みの一環として、11月18日に長崎ウエスレヤン大学にて、二年生を対象とした「キャリアデザイン」の第6回講義として、同友会から3名の方に講師としてお話しをいただきました。

地元企業が求めている人材とはどんな人材なのか。地元企業の代表者の生の声を聞けるという事もあり、学生にとって大変貴重な時間となったのではないのでしょうか。また、同友会からも7名の会員が参加され、学生同様に学ぶ事が出来ました。

まず、諫早観光ホテル道具屋の藤原貞明さんは、旅館業、観光に携わる立場から、沢山の人間と色んな交流をして、コミュニケーション能力を養って欲しい、ウエスレヤン大学には沢山の留学生の方がいらっしゃいますが、その留学生の人間とも積極的に交流して、語学力はもちろん、その国の文化や歴史などに積極的に触れて欲しいと述べられました。

藤原さんは、何度も「地元諫早」という言葉を口に出され、多くの方に諫早に来ていただき、諫早を知ってもらいたいという思いを強く感じました。その為にも、若い人間が沢山のスキルを身につけ、地元諫早に対する郷土愛を持って、おもてなしが出来る人間になって欲しいと話されておりました。

次に、(株)ドゥアイネットの土井幸喜さんは、まず4つの「ジンザイ」の話がされました。

- ①仕事能力もなくやる気もない、その存在そのものが罪である「人罪」
- ②ただそこに存在するだけの人間であり、毎日の仕事をただこなすだけである「人在」
- ③やる気はあるが、技術やスキルがない「人材」
- ④スキルが高く、やる気も十分にあり、会社にとって欠かす事のできない「人財」

これまで、会社が求めるジンザイとは、③の「人材」であったが、これから求められるのは④の「人財」である。自分で考え、善きことを実践し、周りからも尊敬される人間が今後求められるという事。また、「感謝する人間」になって欲しいと話がされていました。

最後に、(株)大幸企画の時 忠之さんは、人生の中で一番自由に行動出来る時期、それが学生時代であ

る。その自由な時期に、いかに自分を追い込んで、色んな事へチャレンジし行動出来るか。その経験が必ず社会に入った時に大きな力になる。

との話でした。

プロフェッショナルとは、「自分の立場を理解し、実践できる人間」という言葉を学生に話され、この自由な学生時代に一つでもチャレンジ出来る事を探し、プロフェッショナルを目指して頑張りたいと話されました。

今回、ウエスレヤン大学の講義の講師としてお話しをいただきましたが、地元企業の代表者が生の声で学生を前にして話しをする機会は、そんなに多くはないと思います。学生にとっても、また、参加された会員さんにとっても素晴らしい学びの場になりました。

(文責 諫早支部 産学連携委員長 廣谷 慎也)



新入社員フォローアップ研修会 開催報告

開催日：11月28日(土) 13:00～17:00 会場：四季の蔵 食楽亭



第2回新入社員フォローアップ研修が開催されました。今回特別なプログラムとして、豪華昼食をいただいてからのスタートとなりました。(食楽亭様ありがとうございました！)

そしていよいよフォローアップ研修がスタートしました。土井委員長の挨拶のあと、恒例の握手タイム！これで一気に場が明るくなりました。緊張していた社員の皆さんも、この握手タイムで少し気持ちがほぐれたようです。

第1部は、先輩社員3名が登壇され、入社したときの自分の気持ちや、これまでの成功、失敗談。現在の自分の立場と、これからの目標などを年表グラフを見ながら話していただきました。興味深かったのは誰一人として、平坦なグラフはないということ。ノコギリの刃のようにギザギザと上下しながら、つまり悪戦苦闘しながら日々過ごしているということでした。うまくいく時もいかない時も、課題とどう向き合って乗り越えていくか。私もハッと気付かされました。3名の話聞いた後は、各テーブルでグループディスカッションを行いました。他の会社の人と仕事以外の話をする、こういう機会は本当に少ないです。新入社員の皆さんにとって、貴重な体験になったと思います。

第2部は長崎支部 浦上地区会 arbreの大城さんを講師に迎え、「伝える、伝わる」気づきの研修」をテーマに様々なワークを行いました。ここでの大きな特徴は、経営者も一緒に参加するという点。いくつか心配なこと(新入社員が萎縮するのでは等)がありましたが、終わってみれば大成功のワークとなりました。また全員をニックネームで呼び合うことにしていましたので、それも良かったのかもしれません。大城さんの素晴らしいアイデアです！

ワークの一つにありました「長崎のエースを紹介します」を紹介します。2人一組になって、それぞれインタビューを行い、「長崎のエースを紹介します。〇〇さんは～」という件で、全員の前発表するというも

のです。ここでは相手の魅力を引き出すための「聞く力」が必要になってきます。そして相手が自分の魅力を教えてくれるという別の効用もあります。これら様々なワークを通じて、新たな“気づき”が生まれた研修でした。

次回3月に開催されますが、これから新入社員の皆さんがどういう風に成長するか、次回お会いするのがとても楽しみです。

(文責 佐世保支部 山崎 秀平)



仲間づくり委員会 県下一斉キャンペーン 結果報告



会員の皆様、今期700名達成のためご尽力いただき深く感謝申し上げます。

7/9～11/19での増強期間には30名の入会申込書をいただき、ありがとうございました。現時点で理事会承認待ちを含みで585名予定の勢いです。各支部・各地区会のご尽力、お一人お一人のお力の結集、感謝のなにもでもございませぬ。本当にありがとうございました。また、今後に繋げて行きたい一心です。感謝申し上げます。

今回はいままでの教訓を踏まえ、経営フォーラムの準備期間と県下一斉増強キャンペーンの期間を決めて参りました。毎日が実は仲間づくりなのだ意識していただけることが大切だと存じます。

仲間づくり委員会としては2016年1月1日年明けて、そして賀詞交歓会には勢い600名達成と高らかに松尾代表理事に宣言していただきたいと考えまし

た。年内に各支部・各地区会からお二人ずつ新入会員さんを出していただいた暁には、600名超えを達成し、会員の新年に明るい昇り調子の運気がもれなくついてくると確信しております。

同友会の位置づけが皆様のご尽力で県・市の条例制定にともない、どんどん向上しております。真の同友会の意義が会員そして他団体の方々に理解されてきています。同友会の中身も熟してきております。そんななか、この勢いに会員の仲間づくりが共に進んでいるのだと思えてなりません。どうぞ、来年は同友会という大きな船と一緒に乗船いたしましょう。同友会羅針盤は示してくれるはずです。何卒、この機会、ご一緒に前へ。来年はもっと明るい年を作り上げて下さいませ。

(文責 諫早支部 仲間づくり委員長 杉本 誠二郎)

第8回 仲間づくり県下一斉 キャンペーン「1デー」結果発表!!

●支部・地区会賞

- 1位 島原支部 (増率 10.2%)
- 2位 佐世保支部 (増率 7.5%)
- 3位 大村支部 (増率 4.5%)

●スポンサー賞

- 1位 島原支部 横田 耕詞 会員 (5名)
- 2位 浦上地区会 西山 展司 会員 (3名)
- 3位 佐世保支部 村山 隆之 会員 (3名)

佐世保365方式 第2回 経営計画書策定セミナー 開催報告

10月3日、4日と2日間に亘り開催された佐世保支部『第2回経営計画書策定セミナー』にて、各社「理念」「ビジョン」の実現化に向けて切磋琢磨された声をアンケートにまとめましたので、ご報告いたします。

【セミナーへの感想】

1. 2回目の参加でしたが、今回は社員と一緒に参加できたことで社員にも経営計画書の必要性が理解してもらえたと思います。

昌明機工(株) 中島 禎雄

2. 今回、初めて参加させていただきました。最初は「まだ早いのかな?」と思っていましたが、本当に多くの学び・気づきがあり、自分を見つめ直し、今後

どのような経営を行っていくべきかという事に、取り組むことが出来ました。開催に当たって、お忙しい中準備された委員長・スタッフの皆さま、今回私にセミナーを勧めていただいた橋口・村山会員心より感謝しております。

村上彫刻 村上 敦子

3. 実例を聞き、各社の経営計画書を見たことで、自社の未来(5年後10年後)を真剣に考え、「経営計画書」を起こす必要性を感じました。経営方針を見失わない・迷わないためにも経営者の経営バイブルだと確信しました。4つの実践報告の全てが内容の濃いもので大満足でした。

しんかん社会保険労務士事務所 西山 浩之
(長崎支部 出島地区会)

4. 大変、刺激を受けました。島原支部に落とし込みたいと思いました。

Rose & Co 池田 知謙(島原支部)

5. 頭の中にしか描いていなかった計画を「見える化」することが出来て良かったです。

東島誉志税理士事務所 東島 誉志

6. 今回のセミナーに参加させていただいて、改めて自分の経営者としての覚悟の甘さや計画性の無さを痛感しました。「経営計画書」を策定し、発表会をされている方々のお話は大変参考になることばかりで、今回もたくさんの気付きをいただくことが出来ました。気付き・学びを我が社に持ち帰り一つでも取り入れて実践していきたいです。

業務の都合上、遅れての参加と準備不足でしたが、参加して大変良かったです。

I SOLUTION JAPAN 八並 学

7. 実践報告を中心にした内容で、「経営計画書」「経営計画発表会」が身近に感じられました。初めての会員の方々にもイメージしやすいgoodな内容だったと思います。新しい気付きを持ち帰って自社の経営に役立てたいと思います。

(有)山崎マーク 山崎 秀平

8. いくつもの気付きがあり、自社の今期方針を考え

るとしても良い機会となりました。

(株)広告のアクセス 山領 進

9. 今回は初日が、他の会のイベントがあり途中からのセミナー参加でした。会員の手弁当の講義等は、大変充実した内容でした。委員長の準備は大変だったと思います。感謝×2です。また、リーズナブルな参加費用だったと思います。

(株)長崎地研 村山 隆之

1 1. 実践報告／講師担当の会員が、支部内で担当出来るようになったことは素晴らしい。

プライアント(株) 橋口 久

1 2. 講師担当の方々との連絡調整がメール中心となったため、やはり顔を合わせての打ち合わせ会(準備委員会／前夜会)の必要性を感じました。しかし、委員会の準備不足はさておき参加者の真剣な姿勢(志)にて各会員発表にてかなりの成果を上げられたことに嬉しく思います。

(株)福祉工房K's 豊福 和明

※参加者全員 365 日以内の開催期日を発表されました。

(文責 佐世保支部 経営・労務委員長 豊福 和明)

(株)広告のアクセス(佐世保支部 山領会員)経営計画発表会 参加報告

【参加者の声】

1. 密室劇を観ているような、全く違ったテーブルミーティング形式での経営計画発表会！驚きました。本来社内の重要会議を見せる事はないと思うのですが、オープンにされることで、チームワークの良さを垣間見ることができました。

(有)山崎マーク 山崎 秀平

2. 26期に比べ27期の経営計画書ははるかにページ数が少なくなっていますが、内容を最小限にまとめ、その場で意見交換を行い理解し共有できる発表会が開催されました。相互の意思疎通を深める為の良い手法だと感じました。

(有)エムズ 川下 真文

3. 経営計画書策定・経営計画発表会を取り組むには、社長・社員ともに相応の努力が必要であり、必ずしもすぐに業績アップに繋がるか判らず多くの会員が未だ

見果てぬ夢に終わっています。今回、山領さんの発表会に参加された会員が開催を宣言されました。素晴らしいことです。また、コンパクトでスマートさを感じられる手法は、流石広告代理店だと感心しました。

(株)長崎地研 村山 隆之

4. 【良かった内容】会議形式は斬新で、観ていて魅力を感じた。おそらく来賓が見つめる中での会議形式はかなり緊張されたと思うがその中での発言は各社員の心に刻まれ次期の活動に繋がることだろう。宣伝「デジタルサイネージ」の部分ですが、自社の宣伝タイムはとても良いと思った。【改善点】会議形式を事前に、議題・目的・ゴールを確認する。

山田さんの「おまけ」発言で会話のキャッチボールが生まれたので、あの瞬間がもっとあったらと思う。TV局等関係会社も来賓で呼んでみては。

プライアント(株) 橋口 久

5. 楽しく、協力し、大胆かつ阿波踊り、仕事を通して社内で双方向のコミュニケーション自分が言える、みんなが言えるチームワークの良さ新しい発表会のス

タイトル大変学ぶこと多き時間でした。

(有)カワカミ 川上 利夫

※参加報告 一部抜粋

(株)長崎地研(佐世保支部 村山会員)経営計画発表会 参加報告



【参加者の声】

1. 冒頭の今期基本方針において社長の社員に対する期待感が大変伝わってきました。「事業成功の秘訣 20箇条」「仕事がデキル人は仕事が早い人」は私自身の活動方針とさせていただきます。まさに“社員の為の社員が主役の発表会”であったと思います。

(株)広告のアクセス 山領 進

2. 毎回参加させていただき若手社員さんの成長を楽しみにしています。今回は特に「規律」を感じました。発表会を開催することにより社員さんへ社長の考え(気持ち)が伝わり意識が若手社員さんに理解されている表れです。我社でも考え直す時期かも…と心の片隅に思うようになりました。

(有)エムズ 川下 真文

3. 会社のシステムや目安・目標等業務の見える化が進んでいることを感じます。これは経営計画発表会を行うことの効果の一つだと思います。計画書が実行されて行く為にも実行のレビューを行っていくことが重要だと感じました。

税理士法人ウィズラン 木竹 広賢

4. 55項目の目次の一つひとつに村山さんの思いを感じる事が出来ました。私が読んでも大変参考になり、大事なところ、社員に伝えたい部分が何度も記され、読み込むうちに脳にすり込まれそうです。

私が会社員時代は月毎に社内情報を共有するための時間が1時間程準備されていましたが、メモを取りいかに自分に落とし込むかが必要とされていました。だ

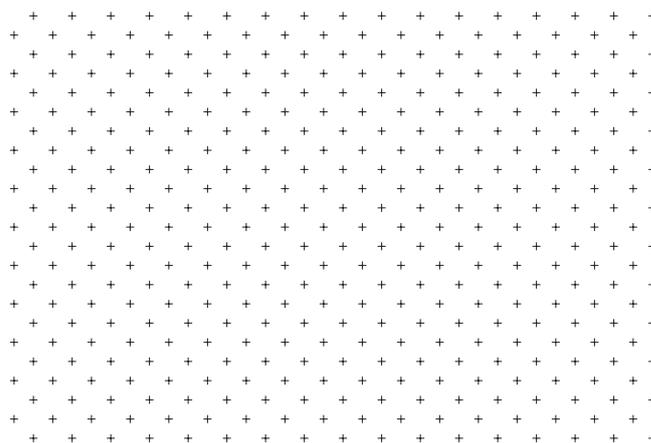


から意識の高低によって時間がムダになったりしていたのを思い出しました。

経営計画発表会が社長の独演会でなく、社員一人ひとりにスポットが当たる発表会でとても良かったと思います。長崎の方でも、広めて行けるようにしたいと思います。

しんかん社会保険労務士事務所 西山 浩之
(長崎支部 出島地区会)

※参加報告 一部抜粋



折込サービスのご案内

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを行っています。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

事務局企業訪問



北松浦支部 (株)絆プレジャーグループ 吉永 満也さんにお話しをお伺いしました。

(株)絆プレジャーグループは1972年にドライブインシーサイド小島として吉永さんのお父様が創業。レストラン宴会場事業やコンビニエンスストア事業に取り組み、現在では・デイリーヤマザキ松浦小島店とデイリーヤマザキ佐世保赤崎店の2店舗を経営されています。

<事業承継>

吉永さんは地元松浦の高校を卒業後に、福岡の大学に進学、卒業が近くなり就職活動を行うとすぐに飲食関係の一部上場企業に内定が決まりました。しかしあまりにも早く就職が決まったため、もう少し就職活動をしてみようという旅行も兼ねて大阪に行ったところある飲食店と出会い、経営者としての勉強ができることに魅力を感じ、内定を辞退して大阪の飲食店で働くことを決意しました。

実際に働き始めると1つの店舗を任されることで、店舗運営について学ぶことができ、また経営についての勉強会や先輩からの指導など教育環境が整っており、休日返上で学び続けました。

しかし働いて3年経った頃に、お父様からレストラン宴会場を新築するので手伝ってほしいとの呼びかけがあり、それに従って松浦に戻りました。高校卒業後は地元に戻るということは一切考えていなかった吉永さんは、帰ってきたときは夢もなく絶望的だったと語ります。そんな時にバイタリティ溢れる井手さん(北松浦支部会員)に出会い、「田舎にもやる気がある人がいる、都会で成功するのは当たり前だ！田舎で成功して田舎から発信をしていこう」と思いを持つようになったそうです。(井手さんとの出会いから24年、今年度の経営フォーラムでは井手さんが実行委員長と吉永さんが副実行委員長を務められ、経営フォーラムは大成功となりました！)



そして入社4年、29歳の若さで事業承継をしました。引継ぎに関しては非常にスムーズに行われ、その後お父様は一切経営に対して口出しをしなかったそうです。それが吉永さんにとってプレッシャーになり経営者としての自覚を強く感じるとともに、責任も感じるようになりました。

<同友会との出会い>

吉永さんの同友会との出会いは2009年6月、入会間もない頃は、前回の松浦市での経営フォーラムの準備で活動されました。その後あまり例会に参加していなかったとのことですが、2012年から例会に参加するようになり、福岡同友会のあすなる塾(経営指針書作成の合宿)にも参加されました。

吉永さんは同友会に入会する以前から経営計画書を作ってはいましたが、作るだけで終わっていました。しかし同友会と出会って経営指針書の本当の意味を知ることができたと語ります。それまではワンマン経営でしたが、社員と経営指針書を共有・共に作り上げなければならぬと学び、社員とコミュニケーションをとるようになり、個別面談も行い意見を聞くようになりました。さらに経営計画発表会を行うことで、社員の意識や社内の雰囲気が変わり、風通しが良くなり、社員の方が仕事をしやすくなったそうです。

<夢について>

吉永さんの夢は5人の経営者を育てることです。自分の思い・理念を受け継いでくれる人がいることが何よりの幸せと感じると述べられました。

これまでに吉永さんの会社から独立された方が2名いらっしゃるので、残りは3人。吉永さんは「自分が引退した後は独立した5人の経営者と月に一回顔を合わせ、酒を飲み交わすことができれば楽しいだろうなあ」と語られ、その時の吉永さんの嬉しそうな表情が非常に印象的でした。

今回は長時間にわたるインタビューに快く応じていただき、ありがとうございました。吉永さんの夢の実現とさらなる活躍を祈念いたします。

(文責 事務局 田口 友廣)

【経営理念】

- 価値ある豊かさを創造する
- 良品の提供とひとつづくり
- 社員個人の人間性を基盤として地域社会に貢献する
- 全社員の幸福を実現する

【会社概要】

(株)絆プレジャーグループ
 松浦市調川町下免 879-13
 TEL: 0956-72-0635
 FAX: 0956-72-0478
 ・ デイリーヤマザキ松浦小島店
 ・ デイリーヤマザキ佐世保赤崎店

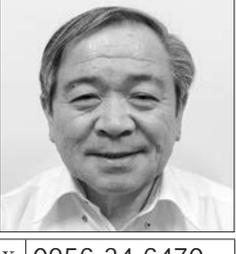
新入会員の皆さんです < 11月入会・交代 > (敬称略)

< 入 会 >

支 部 名	島原支部		
氏 名	かわはら くにあき	河原 邦昌	
企 業 名	(有)島原種苗		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒859-2411 南島原市南有馬町甲 1213		
T E L	0957-85-2112	F A X	
業 種	水産業		
企 業 P R	『南島原市南有馬町にてトラフグの稚魚の生産販売、トラフグ、ヒラメの養殖を行っております。日本独自の文化であり、南島原の文化でもある“ふぐ”の文化を生産の原点から支える会社です。社会に、皆様の飲みに貢献できる事が私たちの力となり、今後も一步一步社員と共に歩んでいます。』 よろしくお願ひします。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	島原支部		
氏 名	ほり たつゆき	堀 辰幸	
企 業 名	(株)ミカド観光センター		
役 職 名	代表取締役社長		
企 業 住 所	〒859-1501 南島原市深江町甲 5292-2		
T E L	0957-72-5434	F A X	
業 種	ホテル業		
企 業 P R	日本一のバイキング、来館されたお客様が幸せな思い出が出来るホテルを社員一同、目指しております。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	島原支部		
氏 名	ふくしま けいご	福島 圭吾	
企 業 名	てっぱん屋 待夢		
役 職 名	店主		
企 業 住 所	〒855-0043 島原市新田町 320-6 コーポ三原F号		
T E L	0957-64-1110	F A X	
業 種	飲食業		
企 業 P R	てっぱんを中心にお料理を提供しております。おすすめはお好み焼とウイスキーをジンジャールで割った島原ハイボール。営業時間はPM6:00～PM11:00(L.O 10:00)です。お近くに起こしの際は是非、お立ちより下さい。		
スポンサー	横田 耕詞		

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	ふくだ たかし	福田 孝司	
企 業 名	七田チャイルドアカデミー 佐世保教室		
役 職 名	代表者		
企 業 住 所	〒857-0862 佐世保市白南風町 1-13 JR九州佐世保ビル3F		
T E L	0956-34-6470	F A X	
業 種	幼児教室(日本語・英語)		
企 業 P R	0歳からの幼児教室 ～七田式教育の特徴～ 無限の吸収力を持つ幼児期に、楽しく遊びながら能力を引き出すお手伝いをします。 ■幼児コース ■幼児英語コース ■小学生コース ■小学生英語コース ■特別支援コース		
スポンサー	八並 学		

V・ファーレン長崎 

V-VAREN NAGASAKI 応援マット

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

広告募集

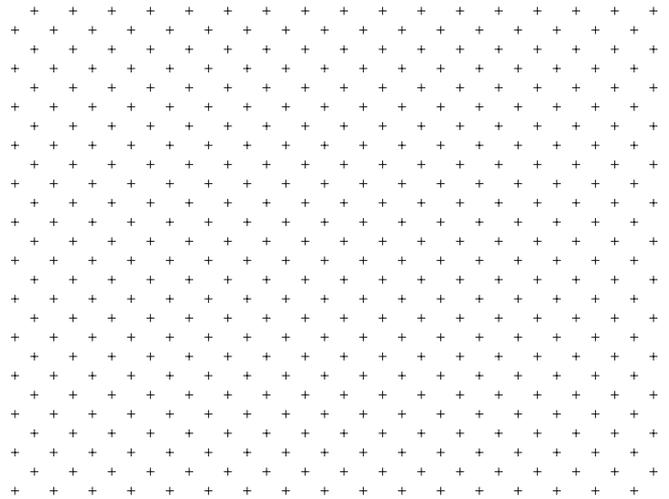
< 4cm x 9cm >

複数月	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
割引	3ヶ月	6,000 → 5,000

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

<交代>

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	いしまる こうぞう 石丸 浩三		
企 業 名	(株)陶もと		
役 職 名	営業主任		
企 業 住 所	〒859-3715 東彼杵郡波佐見町宿 332-3		
T E L	0956-85-6131	F A X	0956-85-6515
業 種	陶磁器卸業		
企 業 P R	やきものの町、地元肥前地区(波佐見・有田・伊万里)の 200 余りの窯元から厳選した和食器を取り扱っております。お客様のニーズにお応えできるオリジナル商品をご提案できますよう心がけております。		
前 会 員	石丸 邦久		



1 月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 1月26日(火) 18:30
会 場 ギャラリーヘキサ
テ ー マ キャッシュフローが3分でわかる 30分
報 告 者 (有)協和会計 取締役
上野 辰一郎 会員

前半: 利益が出ているのにどうしてお金がないの?
後半: 決算書のカラクリと、社長が見るべきツボ

●長崎支部 出島地区会

日 時 1月13日(水) 14:00
会 場 サンプリエール
テ ー マ 未定
報 告 者 エリエージュ 代表者
山口 絵理 会員

●大村支部

日 時 1月21日(木) 18:30
会 場 長崎インターナショナルホテル
内 容 慶祝例会

拝啓、会員の皆様におかれましては、益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。平成28年は、7名の方が該当しております。ご祈祷及び新年祝賀会を行います。平成28年はのスタートを同友会の仲間と共に新しい気持ちで迎えましょう！一年の抱負を熱く語り合う場を設けております。参加の程よろしく願いたします。

●諫早支部

日 時 1月19日(火)
会 場 未定
テ ー マ 中小企業振興基本条例について学びます
報 告 者 大村市商工観光部長
高濱 広司 氏
(株)ミヤタ 代表取締役専務
宮田 正一 会員 (大村支部)
コーディネーター (株)Rana 代表取締役
北村 貴寿 会員 (大村支部)

●島原支部

日 時 1月18日(月) 19:00
会 場 HOTELシーサイド島原
テ ー マ 『経営は、何故から始まり、どうしたらもっと良く出来るのか』(仮) (経営体験報告)
報 告 者 (株)内島材木店 代表取締役社長
内島 範喜 会員

創業 明治6年 弊社では【お客様に納得できる商品・情報を提供し、地域に貢献できる会社づくりを目指します】を経営理念に掲げ、健康・自然を追求した住宅資材の提供と、建主様へ安心と安らぎある住宅を開発・販売していく事を経営方針としております。現在弊社では、製材から特殊加工、古材の買取・販売、住宅設備から太陽光パネルなど地域資源リサイクルや自然環境の将来を、お客様と共に考えて販売・施行しておりますが、私自身の人生も含めて順風満帆とはいきませんでした。紆余曲折だらけだった弊社が、どの様にして『何故から始まり、どうしたらもっと良く出来るのか』を常に追求し続ける現在の組織に成長できたのか。をテーマに6代目として経営体験報告をさせていただきます。

●佐世保支部

日 時 1月26日(火)
会 場 魚魚の宿
内 容 慶祝例会

●北松浦支部

日 時 1月19日(火) 18:30
会 場 サムソンホテル
内 容 新年例会

●五島支部

日 時 1月20日(水)
会 場 未定
テ ー マ 未定
報 告 者 学校法人 鎮西学院 長崎ウエスレヤン大学 学長
佐藤 快信 会員 (諫早支部)

●青年経営者会

日 時 1月28日(木) 19:00
会 場 同友会事務局
テ ー マ 楽しく、継ぐ
~自分の会社を面白くするには~
報 告 者 (有)山崎マーク 専務取締役
山崎 秀平 会員 (佐世保支部)

12月理事会 議事録 抜粋

12月1日(火) 長崎インターナショナルホテル

松尾代表理事

鹿児島で報告いただいた村上敦さんのエネルギーシフトの話は非常に良かったです。今回の中小企業家しんぶんに掲載されておりましたが、福岡・熊本・沖縄で村上さんの報告がありました。長崎での単独の開催が難しいため合同開催を検討していましたが、残念ながら叶いませんでした。エネルギー問題に取り組み、地域経済の発展にはエネルギーシフトが必要ですので、皆さんしっかり勉強していきましょう。また、仲間づくり委員会にも参加をしました。委員長の高い思いを聞きました。年度末まで4か月ありますので、仲間を増やしていきましょう。

仲間づくりについて

1)入会・復会・退会・取り下げの承認について

9名の入会、3名の復会、2名の退会、1名の取り下げを承認

杉本仲間づくり委員長総括(ワンデー表彰)

ワンデーにご協力いただきありがとうございます。じわりじわりと活動してその締めくくりとなったワンデーですが、ワンデーの日にはたたえ合い、反省会もできたと聞いています。蓋を開けたら580名を超えていました。600名が目前に迫っています。各支部・各地区会にお願いをしていますが、各支部・地区会から2名ずつ紹介いただければ、600名を達成できます。年末で忙しくなりますが、どうかお願いします。年明けに600名を達成し、賀詞交歓会で600名達成を松尾代表から発表いただきたいと思っています

(ワンデー表彰)

支部・地区会賞 1位 島原支部、2位 佐世保支部、3位 大村支部
スポンサー賞 1位 島原支部 横田 耕詞 会員
2位 長崎支部浦上地区会 西山 展司 会員
3位 佐世保支部 村山 隆之 会員

協議・承認事項

1)2016年度に向けて

・2016年度予算案について

(前回理事会までの流れ)

○支部活動費…長崎、佐世保以外の支部に関しては補助が終了。五島支部の補助費は20万円→10万円

・支部予算に関しては特になしとのことで確認。

→承認

・組織強化費内五島支部訪島費に関して事務局からの提案。今期五島支部訪問費用を交通費として計上しているため、来期の交通費予算に関しては精査する

→三役会案を承認

※委員会費について各委員会の予算・実績表の確認

○名簿・活動の手引き、ポスター作製について

(前回理事会まで)

2016年度に関しては作成する方向で予算組する。また作製したポスターの配布方法として、金融機関の各支店には支部が担当となり配布する。会員への配布方法として例会等で配布する。

→今期のポスターに関しては印刷待ち(山領会員案の使用、島崎会員の印刷は了承済み)

→現在印刷を発注し色校待ち。

○リース費…事務局複合機

(進捗)現在該当する会員の方へ見積もりを依頼し、次回三役会に提出予定

○全研に向けて全国大会積立金を検討する

(進捗)

概算費用として、キャラバン時横断幕費用約50,000円、パンフレット印刷(約6万枚)850,000円

※上記は最終的に全研開催後、決算の段階で中間協へ請求し清算する

全国大会キャラバン時における交通費の補助を他県同友会に聞き、次回三役会にて協議予定

→過去の他県開催の全研の資料を集め、三役会で協議をする

○例会時に使用する名札についてカード式の検討をしてはどうか

(前回理事会まで)事務局で見積もりをとるが各支部でも協議いたいただく

→見積もりに関して、会員の方からの大枠見積もりとして1つ600円程度。

パウチ方式なら1つ300円程度

(意見・質問として)

・新入会員の人は今までの名札を作るのか？カード式を作るのか？新入会員の人はカード式を作成し、現状のものと同じで使用してもいいのでは ・新入会員の人は基本として、現行の名札を作成していただきたい ・着席すると首から下げる方式のものだと、見えづらい、現行の胸につける名札が分かりやすい ・他支部例会参加時に持っていきやすく、便利 ・名札を各自保管しやすくなる ・希望をする人のみカード式を販売してもよいのでは ・女性としては現行の名札は不便と感じることがある。ただし予算を考えた場合、段階的に検討していきたい ・現行の名札を机の前にカードスタンドのようなもので立てかけたらどうか？ ・デザインが同じであれば現行のものでもカード式でもどちらでもよいのではないかと

→本日の意見を参考に三役会にて協議、1月理事会に提案

・2016年度県人事について

(県委員会の進捗)

例会(尾崎委員長→山口憲男会員：内諾)、経営・労務(吉澤委員長→宇土会員：内諾)、情報広報(永末委員長→山口善也会員：内諾)、仲間づくり(杉本委員長→西山展司会員：内諾)

共育(土井委員長留任)、ビジョン(来月理事会にて報告)、青年経営者会(山口善也会長→橋本裕次郎会員：内諾)

(今回理事会提案事項)

来期以降の副代表理事の増枠について(金井副代表理事)

(金井副代表より)会活動が多様化していますが、副代表理事を増枠することで、しっかりと代表理事を支えていきたい

→上記の提案を承認

三役会で副代表理事の役割について検討する

・定時総会について

(前回理事会)

定時総会の開催地について開催地の立候補を支部で検討いただく

→(三役会案)

長崎での開催を提案する

(意見として)

(松尾代表より)

県のメインのイベントの総会だが、参加者が少ない。来賓に多く参加していた中で、同友会のがんばっている姿を見ていただく機会なのにもっていない。長崎での開催を提案ということで、やはり長崎の皆さんにがんばっていただきたい。また長崎での開催を皆さんに応援していただきたい

→三役会案を承認

・県行事におけるバスの手配について

(総じて)

県行事に関しての交通手段は支部単位での手配を行うことを承認

総会では支部によっては交通費補助も出るため、差額を支部負担などで交通手段の手配の検討をお願い。また、今後は会場の予約をする前にバスが利用できるかどうかを確認する

2)第2回経営フォーラムについて

	長崎	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目 標	80	25	20	20	60	35	10	250
会 員 登 録	49	20	17	12	45	43	5	191
オ プ 登 録	5	0	2	0	3	36	0	46
登 録 合 計	54	20	19	12	48	79	5	237
会 員 出 席	38	20	14	12	43	37	4	168
オ プ 出 席	5	0	2	0	3	35	0	45
出 席 合 計	43	20	16	12	46	72	4	213

(佐世保支部-オプに他県1を含む。来賓22名(うち会員2名))

→振り返りおよび収支確認

→収支を承認

(振り返り意見として)

・目標の250名には到達しなかったが、当日は来賓を含め235名と多くの方に出席いただいた。

・分科会会場への移動がスムーズにできた

・フォーラムノートの広告を行わなかったため、経費の面で苦しんだ部分があった

・どの分科会も非常に素晴らしい内容だった

・松浦の地域性が出ていた

・松浦での同友会の認知が上がった

3)賀詞交歓会について

(前回理事会までの決定事項)

2016年1月13日(水)17:00~サンプリエールで開催。

会費4,000円。記念講演を中村法道知事へ依頼。佐世保支部：江口会員、野田会員に空手の型を演じていただく。懇親会は着席とする

(今回提案事項)

・式次第

(質問として)

支部地区会アピールについて→来賓・会員の両方に向けたアピール。支部で注力していることも違うので、アピールしていただきたい。年の始めの会のアピールの場であり、イベント的な要素が強いため、各支部頑張っているということ伝えていただきたい

→式次第を承認

・第1部、第2部の司会者、来賓紹介者、来賓ご挨拶、乾杯のご発声の5名に関して三役一任とする

→上記5名にスローガン唱和を追加した6名に関して三役一任とすることを承認

4)経営フォーラムの順番について

(前回理事会案)

大村支部→浦上地区会→佐世保支部→諫早支部→出島地区会→島原支部→五島支部→北松浦支部

上記案を再度理事会で報告し、各支部で検討いただく

(三役会案)

基本的に上記の流れを進めることを理事会で確認する

→上記の流れを確認

- 5)理事会承認済み会員、手続き待ちの期間について
(三役会案)
規約上、「承認を得た人は、すみやかに入会金、会費を納入し、納入した日より会員資格を有します」と記載。すみやかに入金ということから、よほどの理由がない限り、理事会承認後入金いただけない事案が発生した場合、支部長、支部役員会、三役とつと協議し取り下げることとする
(総じて)
理事会承認後の次月理事会までに入会手続き待ちの場合には、支部長、支部役員会、三役とつと協議し取り下げることとする。ただし明確な理由がある場合にはその限りではないことを承認
- 6)9月26日役員研修会決算について
→承認
- 7)海外人材活用セミナー名義後援依頼について
(事務局より)ガイドライン上問題はない。また、佐世保支部 橋口会員がセミナーの中で事例を発表する
→承認

報告・連絡事項

- 1)11月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について
- 2)例会について(更なる例会の充実をめざして) -尾崎例会委員長
例年11月は経営フォーラムを例会充当することが多いですが、大村・諫早・島原・五島の4支部は充当せずに独自で例会を開催しています。出席率に関して去年の同月と比較すると上がっていますが、通年で考えると40%前後を推移し、最低の目標である50%には程遠い状況です。また、12月と1月は飲み会だけの例会が多く開かれています。先日行われた例会委員会の中で、やはり月に1回は学びの場を開催すべきであり、来年度からは極力飲み会だけの例会をなくし、学びの場である通常の例会を開催をという意見でまとまりました。また出島地区会や島原支部が取り入れているグループ制(班制度)は例会委員会と仲間づくり委員会も運動して結果が出ています。来期は各支部でグループ制の導入をお願いします。例会と仲間づくりの充実につながると思います。

3)中同協 主要行事の紹介

- 4)11月5日(木) 中同協政策委員会参加報告(宮田委員長)
→中同協事務局に初めて行きました。熱い会議が行われ、もっと早くから参加すべきだったと感じました。我々中小企業家の声を届けるためにその手段を考えようという議論が交わされました。松尾代表も急遽途中から参加をされました。また元長崎県産業労働部長の石崎さんも中小企業庁より参加をされていました。

- 5)11月8日(日) 長崎県地域・自治体研究所例会参加報告(峰事務局次長)
→北海道同友会大友会員が講師として来崎、参加。エネルギーシフトについて各地で報告と同時に中同協書籍にも執筆している。内容は原発の撤廃に関して各種データをもとに報告。今後の自然エネルギー活用の事例も紹介

- 6)11月17日(火) 高等技術専門校のありかた検討WG参加報告(峰事務局次長)
→県の産学官コンソーシアム内、WGの1つ。今回は専門校のカリキュラムや周知方法について協議した

- 7)11月18日(水) ウェスレヤン大学キャリアデザイン第6回講義参加報告(諫早支部 土井委員長)
→(山田支部長)10月26日に同様の講義が開催され、報告しました。学生には非常に熱心に話を聞いていただけました
→(土井委員長)大村支部 時 会員、諫早支部 藤原 会員と私の3名で報告をしました。60名近くの学生が熱心に真剣に耳を傾けていただけました。後日、先生からもお礼のメールがあり、学生にとってかえがたい授業であったこと、来年も違った形で内容を濃くして開催をしたいのでまた相談したいことが書かれていました

- 8)11月19日(木) インターンシップ推進会議参加報告(峰事務局次長)
→夏に行われたインターンシップの結果報告と今後のあり方や方向性を検討。来年度に向け、推進協議会から企業開拓のための提案に来局予定

- 9)11月24日(火) 法政大学坂本先生講演参加報告(峰事務局次長)
→諫早商工会議所会員大会において講演。12月20日には「日本でいちばん大切にしたい会社5」発刊予定。経営はまずもって社員とその家族を大事にしなければならないと、各企業事例を交えて60分の講演

- 10)11月25日(水) 宮崎大学根岸先生講義参加報告(宮田委員長、峰事務局次長)
→(峰事務局次長)長崎大学 山口先生からの紹介で参加しました。宮崎同友会にゆかりのある方の講義で、地域や企業の在り方について真剣に考えることができる場でした。またそういった場に参加できることに非常に感謝しています

- 11)11月27日(金) 新大村市長園田氏、大村支部へ訪問報告(大村支部)
→(上谷支部長より)宮田委員長を通して、大村新市長があいさつに伺いたいとお話をいただき、長崎インターナショナルホテルをお借りして、お会いをしました。大村支部としての行政へのかかわりをお話ししてご理解いただけたと感じました。また、同友会にも機会があれば参加したいということでしたので、さっそく来年開催の経営フォーラムの案内をしました

- 12)11月28日(土) 第2回新入社員フォローアップ研修会開催報告(土井委員長)
→第1部では3名の先輩社員から報告をいただき、第2部では体験型のワークショップを行いました。対象である新入社員だけでなく、オブザーバーの会員も参加しました。普段厳しい顔をしている会員もこやかにワークに取り組んでいただくことができ、同友会の共に育つという理想の場を見せていただくことができました。アンケートの満足度も非常に高かったです。今後も経営者だけ、新入社員だけといった研修でなく、共に学ぶといった趣旨のもと、研修の場を提供したいです

- 13)12月4・5日(金・土)九州・沖縄ブロック事務局員研修交流会参加(峰事務局次長・田口事務局員)

- 14)中同協第2回幹事会を受けての報告
・団体割値上げ提案について
(松尾代表より)現在、会員の方に月々509円負担いただいておりますが、今後544円の負担増になります。中同協は全国での取り組みを行ううえで非常に大事な協議会になりますので、ご理解下さい
・中同協定時総会運営規定について
・災害等への中同協の対応についての考え方について

- 15)3カ月間会費滞納者について -なし

- 16)その他
(上谷支部長より)来期の大会開催での経営フォーラムですが、会場のキャバを鑑みてシーハットをおおむらを使用したいのですが、来年の10月は金土日全て埋まっているため、10月20日(木)を仮押さえしました。また、懇親会はシーハットおおむらから徒歩で移動ができるパークベルズ大村で検討しています。事後報告となりますがご了承下さい。
→来期経営フォーラムの開催日を10月20日(木)とすること、会場をシーハットおおむらとすることを承認

留意事項

- 1)2017年 中同協役員研修会について
5月開催予定。今後は代表者会議で進捗を協議する
→大村で開催することを決定(2015年11月理事会)
- 2)2019年中小企業問題全国研究集会(全研)について
ニュー長…立食1000名、椅子800名、分科会対応約5室
ベストウェスタン…立食1000名、椅子900名、分科会対応最大6室
※中同協確認事項最大1000名(上限を設ける)でも全国大会開催可能
→三役会案：ランタンと重ねることは避けるべき。また他県の情報を収集中
→長崎市で開催することを決定(2015年11月理事会)

閉会あいさつ - 金井副代表理事

経営フォーラムの成功と仲間づくりワンダーの島原支部1位おめでとうございます。会員数が少ない支部でも立派にやれるということが分かりました。また、共有委員会の共に育つという報告が非常に嬉しく思います。大学や地域との取り組みが増え活動も多様化し、皆さん大変かと思えます。しかし会員のことをしっかりと考えバランスを取りながら活動を進めていきましょう。

次回日程…1月6日(水)19:00～へ変更(場所未定)

会員消息

会 員 数 (12月1日現在)

	長崎	(浦上)	(出島)	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	252	138	114	81	81	60	141	55	30	700
期首	198	109	89	64	63	46	111	45	23	550
現在	193	106	87	67	69	51	121	46	25	572

●企業住所等変更

横山 慎介 会員

(長崎支部 浦上地区会)
新住所：長崎市さくらの里2丁目27-28

小西 勇司 会員

(長崎支部 出島地区会)
新企業名：(株)小西不動産
新役職名：代表取締役

退会者 (敬称略)

会員名	会社名	支部・地区会名	入会年月
池田 務	Asanta・sana	長崎・出島	2003年3月入会
森 聖美子	日本生命 平戸営業部	北松浦	2001年1月入会